広報誌

弥生会通信

やよいかいつうしん

48号

ご自由にお持ちください

高次脳機能障害を持つ方を対象に、当院では外来で集団プログラム「さくらの会」を実施しています。参加者の皆さんは、医師や心理師などと共に、さまざまなアクティビティを取り入れたプログラムを通して、注意・記憶・遂行機能などの高次脳機能について楽しく学んでいます。今回の活動では、パンケーキ作りに挑戦しました。場内には甘い香りが広がり、きれいな焼き色のついたパンケーキが次々と焼き上がりました。参加者はそれぞれ思い思いにデコレーションを施し、完成したパンケーキをみんなで美味しくいただきました。

当院は、千葉県から委託を受けている高次脳機能障害支援拠点機関として、診断・評価を行うとともに、在宅での生活支援や経済的支援、就労支援などへとつなげています。

医療法人社団 弥生会

HPも是非ご覧ください

旭神経内科リハビリテーション病院

〒270-0022　千葉県松戸市栗ケ沢７８９－１　電話　０４７－３８５－５５６６

神経内科 / 内科 / 精神科 / リハビリテーション科　http://www.yayoikai.or.jp

「地域で過ごす」を目標に ― 地域連携を支える人材の育成と研究 ―

当院は、地域に開かれた病院として、「医療から生活へ」という流れを大切にしながら、地域とともに歩む医療を目指します。私たちの目標は、高齢者の方々が安心して“自分の地域で暮らし続ける”こと。そのために、地域連携を支える人材の育成と、地域をより良くしていくための実践的な研究に力を注いでいます。人材育成では、次世代の医療者が“地域で生きる高齢者を支える視点”を身につけ、現場の中で学び合う文化を育てます。また、研究では、日々の実践を振り返り、より良い支援の形を科学的に探求していきます。この二つの取り組みを重ねることで、地域の医療とケアの質を少しずつ高め、地域包括ケアの未来をともに築いていくことができると考えています。

院長　松井敏史

リハビリ専門学生の受け入れ

リハビリテーション部 部長　井上 望

リハビリテーション部では、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の養成校から、年間 30 名以上の実習生を受け入れ、チーム医療の現場で学びを深める機会を提供しています。
実習では、回復期リハビリテーション病院ならではのチームアプローチや各専門職の役割を理解し、臨床実践力の向上を目指して、一人ひとりに寄り添いながら指導を行っています。当院のリハ専門職は、入院病棟でのリハビリテーションにとどまらず、通所リハビリテーション・訪問リハビリ・高次脳機能障害支援事業・地域リハ部門などと連携し、多様な場面で活動しています。そのため、患者様の入院から地域生活までを切れ目なくサポートする地域医療体制に触れることができます。実習を通して当院の理念や臨床現場を経験し、その後、当院に就職して活躍しているスタッフも多数在籍しています。また、私たち実習を受け入れる側も、学生の新しい視点や熱意に触れることで初心に立ち返り、学びを深め、専門職としてさらなる成長につながっています。

聖路加国際大学 研修生の受け入れ

小金原地域包括支援センター　滝田 尚美

小金原包括では、10 月末の 5 日間にわたり、聖路加国際大学 認知症看護認定看護師教育課程の研修生 9 名を受け入れました。研修生の皆さんは、普段は病院や施設でリーダー的な役割を担い、豊富な実務経験と実績を持つ看護師です。今回は見学実習の形で、包括の相談業務や認知症予防教室の様子を見学いただき、さらに訪問にも同行していただきました。日頃の業務では知ることが難しい地域での高齢者支援の実際や、多職種連携について学んでいただけたようです。今後の認知症看護を支えていく人材の育成に携わることができ、私たち自身も「精進しなければ」と身の引き締まる思いです。地域には認知症だけでなく、さまざまな困りごとを抱えた方が暮らしています。地域の皆様が安心して生活できるよう、包括一同、力を合わせてご支援してまいります。

「こんなこと相談しても大丈夫かな？」と思われることでも、どうぞお気軽にご相談ください。

新薬治療と研究

神経内科 医師　鈴木 政秀

近年、アルツハイマー型認知症に対する新たな治療薬が登場し、注目を集めています。2023 年には「レカネマブ（商品名：レケンビ）」、2025 年には「ドナネマブ（商品名：ケサンラ）」が国内で承認されました。これらは軽度認知障害や初期のアルツハイマー型認知症を対象とし、脳内に蓄積する病因の一つであるアミロイド β を標的とする抗体薬であり、病気の進行を遅らせる効果が期待されています。従来の対症療法とは異なり、疾患そのものに働きかける「疾患修飾薬」として、認知症治療の新時代を切り開くものです。治療の鍵となるのは、早期診断と専門医療機関での適切な評価です。現在、当院外来では 13 例の患者さんが治療を受けています。また、千葉大学医学部附属病院脳神経内科と共同で「アルツハイマー病における抗アミロイド β 抗体治療の反応性に及ぼす因子の探索研究」というテーマのもと、治療効果に関連するバイオマーカーの解明を目的とした研究協力を行っています。

得られた知見をエビデンスに

内科 医師　柚木 真

今春から、私が所属する東京大学医学部大学院博士課程において進めている臨床研究テーマのひとつ「睡眠時無呼吸症候群」についてご紹介します。

睡眠時無呼吸症候群とは、文字通り睡眠中に無呼吸や低呼吸が繰り返し起こる疾患で、国内の推定潜在患者数は軽症も含めると約 2,200 万人（およそ 5 人に 1 人）とされています。すぐに命に関わる病気ではありませんが、日中の強い眠気によって生活の質が低下するほか、長期的には脳卒中・心筋梗塞・難治性高血圧などのさまざまな疾病につながることが明らかになっています。さらに、高齢者では認知機能低下の一因となる場合もあります。

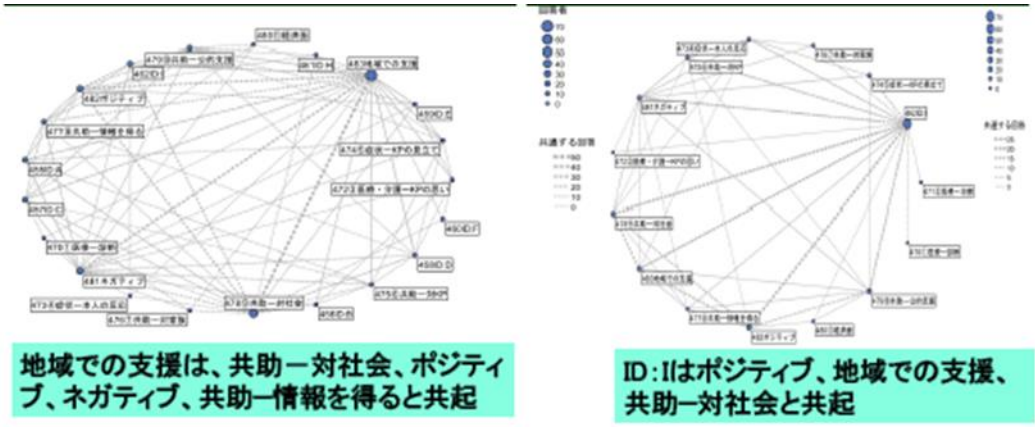
私たちは、この疾患の病態や疫学を研究し、適切な診断・治療を行うことで、こうした多様なリスクを未然に防ぎ、地域の皆様の健康向上に貢献していきたいと考えています。

若年性認知症への取り組み

認知症疾患医療センター 副センター長　永田 あかね

帝京科学大学・糸井和佳教授と、令和 5 年基盤研究「若年性認知症患者への質的調査（糸井和佳・松井敏史・永田あかね）」を行い、２０２３年日本認知症ケア学会大会での示説発表を行いました。

図１　地域支援タブと共起するカテゴリーの頻度分布



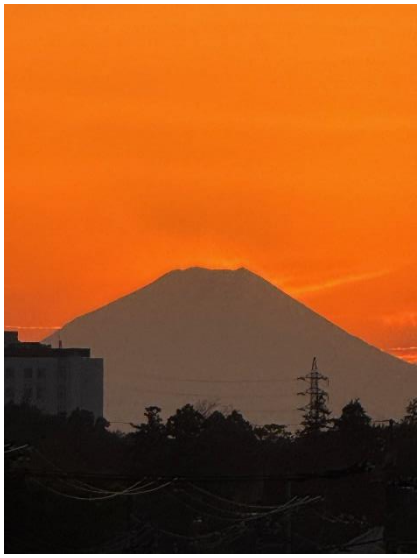
更に現在は、令和 7 年度基盤研究「地域における若年性認知症ケアラー・メンタープログラムの作成（糸井和佳・松井敏史・川上千春）」が採択され研究を行っています。公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団の第 33 回ヘルスリサーチ研究が採択され、「若年性認知症の方の時宜を得た適切な支援システムの構築―トピック分析を用いて（松井敏史）」を実施中です。

✽基本理念✽

1. 私どもは、患者様が家庭的な雰囲気の中で良質な治療・療養が受けられるように努めます。
2. いつも患者様が健康で生き生きと生活できるよう支援いたします。
3. 職員一同は地域の皆様に良質な医療サービスが提供できるようたえず自己研鑽に努めます。

✽基本方針✽

1. 障害を持った患者様に、回復期、維持期および終末期リハビリテーションを提供して、生涯にわたって生き生きとした生活を送ることが出来るよう援助していきます。
2. 生命と人権を尊重し、患者様中心の医療サービスに努めます。
3. 職員一同は研究、研修に励み、良質で心のこもった医療サービスを提供することをめざします。
4. 地域に開かれた病院として地域の方々の健康増進に寄与する活動に取り組みます。
5. 病院の健全な組織運営に取り組みます。



当院屋上から見た富士山
2025.11.17 畠山治子医師 撮影

周辺地図

関連事業

旭神経内科
リハビリテーション病院
通所デイケア
電話　０４７-３８５-５５７５

栗ヶ沢訪問看護ステーション
電話　０４７-３８５-１９３３

【松戸市から受託】
小金原高齢者いきいき安心センター
（小金原地域包括支援センター）
電話　０４７-３８３-３１１１

【千葉県から受託】
- 認知症疾患医療センター
- 東葛北部地域リハビリテーション広域支援センター
- 高次脳機能障害支援普及事業

発行日 2025 年 12 月　／　発行　医療法人社団 弥生会 旭神経内科リハビリテーション病院